

「体験型林業・木材講座」の開催

1 はじめに

林業・木材産業は、他産業より認知度が低いため、求職者の就業対象として選択され難いという現状があります。

そこで、高校生の林業・木材産業への興味や理解度の向上を目的に「体験型林業・木材講座」を、昨年に引き続き開催しましたので、概要を紹介します。

2 講座の概要

- (1) 主催：県北広域振興局林務部
- (2) 対象：久慈東高校2年生
森林生態科目群専攻者18名
- (3) 内容

月日	時間	内容
6/19	約1時間	講義 ・産業の概要
6/21	約3時間	体験※ ・林業機械操作体験
6/22	約3時間	6項目(グラップル等) ・製材機械等操作体験 10項目(検知、製材機等)
6/26	約1時間	講義 ・体験の振り返り

※体験

- ・対象者18名を2班に分け、2日間を通じて、全員が林業～製材の操作を一通り体験できるように設定。
- ・指導は久慈地方「木の仕事」協議会に依頼(2日間で延べ54名が指導)。

3 アンケート結果

講座終了後のアンケート結果を示します。

- (1) 講座に満足した：10割
- (2) 林業・木材産業に興味を持った：約9割
- (3) 林業・木材産業を理解できた：約9割
- (4) 次回も体験したい：約9割
- (5) 就職先として意識した：約9割
(実施前は約3割)

4 おわりに

高校生に林業・木材産業の一部を伝えられたこと、就職対象として意識されたことなど、大きな成果があったと考えています。

新規就業対策は、継続することが重要と考えられるので、今後も内容を改善しながら、業界と共に取組んでいく予定です。



写真1 林業機械操作体験の様子



写真2 製材機械等操作体験の様子